

本日は、千石会総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

前回の総会から1年間が経ちました。  
その間、大阪大学ではさまざまなことが起きました。

まずもって、このたびの入学試験にかかわる問題につきまして、千石会の皆さまにも多大なるご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

これまで、大阪大学として、再発防止と学生の修学支援、並びに、社会的信頼の回復に全力で取り組んでまいりました。  
そのような真摯な取り組みにより、大阪大学が策定した再発防止策が、文部科学省の大学入学者選抜実施要項に盛り込まれるなど、全国の大学のリーディングモデルの役割を果たしました。

また、先般の大阪北部地震、平成30年7月豪雨、及び台風21号により、被害に遭われた方々に、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

大阪大学でも、それらの災害により、キャンパスの建物、研究設備等に、相当の被害が発生しました。  
千石会の皆さまにもご心配をおかけしましたが、復旧に相当の時間を要するものもあるものの、文科省に災害復旧費を要求するなど、研究環境の正常化に向けて、着々と対応を進めております。

以上のような出来事がありましたが、大学教職員、卒業生、学生は変わらず活躍しておりますので、その様子などをご報告させていただきます。

# 大阪大学のビジョン

社会変革に貢献する世界屈指のイノベーティブな大学へ  
—University 4.0への挑戦—

社会的課題の解決  
シンクタンク機能

世界的な研究拠点形成  
学問の深化

優秀な人材・  
高度専門人材の輩出

2031年 創立100周年

Osaka University  
in Society

何が解決すべき課題か、  
解決のために何をすべきかを  
社会と共に考える



Osaka University  
for Society

社会との共創による  
新たな価値創造を介した知と  
人材と資金の好循環を実現

社会と共創する知と力

専門を統合する知と力

伝統による専門の知と力

Open  
Education

Open  
Governance

Open  
Innovation

Open  
Community

Open  
Research

OUビジョン 2021 「大阪大学憲章」の基本理念を  
第3期中期目標期間において実装

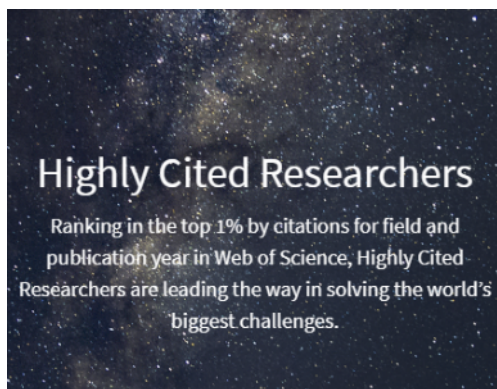
大阪大学は、創立100周年にあたる2031年に、「社会課題の解決」、「学問の深化」、「優秀な人材の輩出」を目標として、「社会変革に貢献する世界屈指のイノベーティブな大学」になることを目指しています。

それに先立ち、創立90周年にあたる2021年を見据えた第3期中期目標期間の6年間で「進化の期」と位置づけ、指針となる「OU (Osaka University) ビジョン2021」を策定し、たゆまぬ自己変革に努めております。

## 世界に大きな影響を持つ研究者に8名が選出

世界で引用された回数の多い論文の著者を研究分野ごとに選出した  
**Highly Cited Researchers (計21分野)**に  
 大阪大学から**3分野で8名(国内大学最多)**が選出！

 **Clarivate Analytics** Highly Cited Researchers



<https://clarivate.com/hcr/>

CHEMISTRY	茶谷 直人	大学院工学研究科・教授
	三浦 雅博	大学院工学研究科・教授
IMMUNOLOGY	審良 静男	免疫学フロンティア研究センター・教授
	坂口 志文	免疫学フロンティア研究センター・特任教授 (常勤)
	佐藤 慎太郎	微生物病研究所・特任准教授 (常勤)
	竹田 潔	大学院医学系研究科・教授
	山本 雅裕	微生物病研究所・教授
PLANT & ANIMAL SCIENCE	松田 史生	大学院情報科学研究科・教授

大阪大学が、日本屈指の研究型総合大学でありますことは、皆さまご承知のことと存じますので、特に、国内外で高く評価されたトピックをご紹介します。

Clarivate Analytics (クラリベイト・アナリティクス)が、世界中で引用された回数の多い論文の著者を21の研究分野ごとに選出した「高被引用論文著者 (Highly Cited Researchers)」を、昨年11月に発表され、大阪大学から3分野で8名の研究者が選出されました。

この数は、一昨年に続き、国内大学で最多となっています。

大阪大学において、世界をリードする研究が行われている証の一つであると考えています。

# ダイバーシティ研究環境の実現

## 産学官共創を基盤として女性研究者循環型育成クラスターの形成と拡大

女性教員増加数(32名)

# 全国第1位

(2017年度国立大学協会による調査報告)

2016年度

2017年度

2018年度～

大阪男女協働推進連携協議会の設置

ダイキン  
工業

代表機関  
大阪大学

国立研究開発法人  
医薬  
健栄研

協力機関の参画  
大阪男女協働推進連携会議の設置

協力機関 (2018.7.1 時点 (50音順))

NTN、大阪科学技術センター、大阪ガス、  
キャタピラー・ジャパン、京セラ、神戸製鋼所、  
サラヤ、サントリーホールディングス、  
塩野義製薬、シスメックス、島津製作所、  
情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター、  
新日鐵住金、大幸薬品、大和ハウス工業、  
NTT西日本、日本IBM、パナソニック、  
阪大微生物病研究会、日立造船、  
マンダム、理化学研究所、ロート製薬

関西から全国展開を目指す  
女性研究者循環型育成  
クラスター

協力大学

大阪府立大学 大阪市立大学 奈良女子大学  
関西大学 立命館大学 など

協力自治体

大阪府 など

また、本学はイノベーションの源泉となる「ダイバーシティ」の向上にも貢献しております。

昨年もご紹介しましたとおり、本学は、2016年度に文部科学省事業の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。

関西に拠点を置く18企業と研究機関などが参画し、女性研究者に多様で発展的なキャリアパスを提供する「循環型育成クラスター」の形成と拡大を進めています。

なお、国内大学ではまだ事例の少ない「産学クロス・アポイントメント」による女性研究者の受入を実施するなど、ダイバーシティ研究環境の実現に向けた取組を強力に推進しています。

さまざまな取組の成果として、2017年度には、1年間における女性教員増加数32名を達成しました。

これは、国立大学協会の男女共同参画の調査において全国で第1位です。

また、10月10日に発表となったところですが、本学は文部科学省が実施する、平成30年度科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」に採択されました。

これからも、多数の企業・大学・自治体との共創(Co-creation)のもとで、全国のダイバーシティ研究環境の発展を先導していきます。

# 卓越大学院プログラムに採択 ～生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養～

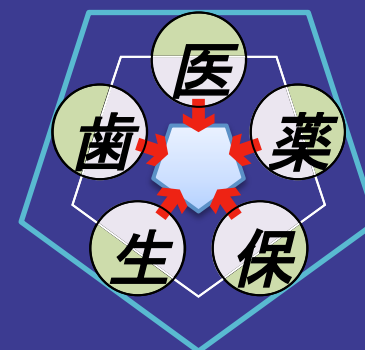
## 卓越大学院プログラム

**あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材の養成を育成する**とともに、人材育成・交流及び新たな共同研究が持続的に展開される拠点を創出し、大学院全体の改革を推進する

本学のプログラムでは医歯薬生命分野において  
国際競争に打ち勝って優位性のある研究成果を挙げるための「研究実践力」と、  
自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していくための「社会実装力」  
の涵養を図る



本プログラムは**主専攻型**で各々の研究科固有の教育科目の一部と社会実装教育科目で構成される



生命医科学における研究成果の社会実装を推進する  
卓越した博士人材の涵養



次に、今年度採択された大型プロジェクトについて紹介します。

10月3日に発表になったところですが、文部科学省の平成30年度「卓越大学院プログラム」に本学から申請のプログラムが採択されました。

卓越大学院プログラムは、「世界の学術研究を牽引する研究者」、「イノベーションをリードする企業人」、「新たな知の社会実装を主導する起業家」等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究が持続的に展開される拠点を創出し、大学院全体の改革を推進することを目的としています。

本学が採択されたプログラムは、医歯薬生命分野において、米国と比較してアカデミアにおけるライセンス収入が明らかに少ない現状から、研究成果を社会実装しきれていない問題に着目し、国際競争に打ち勝って優位性のある研究成果を挙げるための「研究実践力」と、自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していくための「社会実装力」の涵養を図る教育体制を構築します。

これにより、本プログラムの目的である、生命医科学における研究成果の社会実装を推進する卓越した博士人材の涵養を図ってまいります。

# 人工知能等社会実装研究拠点事業に採択

## ～未来を創る「ライフデザインイノベーション研究拠点」プロジェクト～

### ①保健・予防医療プロジェクト

個人の生涯（周産期、乳幼児期、小児学童期、成人期、高齢期）の健康記録（健診、診療、介護、個人記録データ）を軸とした医療の実現



### ②未来の学校支援プロジェクト

学校生活における学習や学生生活の支援  
ひきこもりやいじめの検出や予防



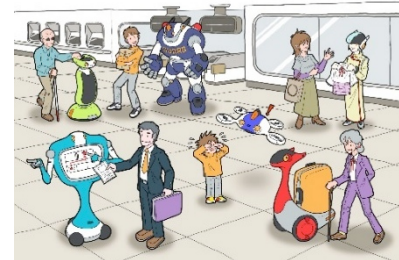
### ③健康・スポーツプロジェクト

パフォーマンス解析から、外傷障害予測+パフォーマンス向上予測



### ④共生知能システムプロジェクト

情報・ロボット技術を利用した高齢者が長期に勤める社会  
情報メディアやロボットによる人口減少時代におけるQOLの補償  
地域社会と連携したコンパクトかつ機能的な社会作り



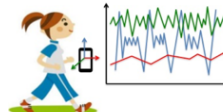
### ⑤情報システム基盤プロジェクト

- Blockchainによる分散管理
- DB内の個人情報保護
- 複数データ間の秘匿演算



### ⑥行動センシング基盤プロジェクト

- スマホや腕時計型センサ、IoTを活用した行動センシング



### ⑧社会技術プロジェクト

- 個人情報・プライバシー保護
- ELSI（倫理的、法的、社会的問題）
- プライバシー影響評価

### ⑦実証フィールド整備プロジェクト

### ⑨データリテリ人材育成PJ

### ⑩グランドチャレンジ研究PJ

研究PJ

こちら9月に発表になったところですが、文部科学省の平成30年度人工知能等社会実装研究拠点事業に本学から申請した事業が採択されました。

この事業は、学長等のリーダーシップの下、情報科学技術を基盤として事業や学内組織の垣根を超えて研究成果を統合し、社会実装に向けた取組を加速することにより、Society5.0 (IoT、ビッグデータ、人工知能等のイノベーションをあらゆる産業や社会生活に活用することで、様々な社会課題が解決される社会)の実現を目指す大学等の先端中核拠点を支援するものです。

本学がライフデザイン・イノベーション研究拠点として、スライドにありますライフステージに合せたプロジェクトを提案・推進し、エコシステムとして形成基盤を構築することで、個人や社会の未来予測によってリスク回避を可能とし、人々が健康で豊かに生きるための社会に向けて、貢献していきます。

なお、同プロジェクトは、毎年約7億の予算がつき、事業期間は最大で5年間の大型プロジェクトで、さらに同プロジェクトで形成された事業を発展させ、5年後にうめきた2期区域での更なる事業化を目指していきます。

< 2021年 >

大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業

## 中之島キャンパス再開発事業

大阪大学は中之島が創学の地



「中之島アゴラ」構想



オープンスペース（交流の場）のイメージ

「中之島キャンパス」として再開発し、

社会学共創

アート

産学共創

の拠点とする。

次に、キャンパス整備関係の話題をいくつか紹介します。

ご承知のように、大阪大学の「創学の地」は中之島です。

その中之島で、産学官の共創により、「中之島アゴラ」という構想を実現したいと考えています。

そのため、現在の中之島センターを大改修して、機能強化することを計画しています。

文化・芸術・学術・技術という「四つの知」が交差する社学共創、アート、産学共創のグローバル発信拠点の形成を目指します。

# < 2021年 > 大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業

## 箕面キャンパス移転事業



- ✓ 2016年4月12日に正式合意書を締結
- ✓ 2021年春の開校をめざして、船場東地区に校舎、学生寮を整備し、箕面キャンパスを移転
- ✓ 箕面市は市立文化交流施設及び図書館（市の蔵書11万冊と大阪大学の蔵書60万冊を所蔵）を整備

地下鉄御堂筋線(北大阪急行線)の延伸により整備される新しい駅の前に、箕面キャンパスを移転します。

先日、この新しい駅の名称が「箕面船場阪大前駅」に決定しました。

元々は「箕面船場駅」という仮の名称が付いておりましたが、駅名に「阪大」を何としてでも入れたいという強い思いで活動し、多くのご協力を得まして、その念願を果たすことができました。

このことは、移転先地域のシンボルとして「阪大」が認められた証であり、本学にとって重要な意義があります。

その新箕面キャンパスに、外国語学部を中心に世界70か国にも及ぶ学生・教職員が集うグローバルキャンパス、さらには、環境や省エネなどを徹底的に追求したスマートキャンパスを形成したいと考えています。

このスライドの右下の写真のように、今はまだ更地の状態ですが、2021年春の開校に向けて、その準備が進んでおります。

# 大阪大学グローバルビレッジの整備

## 2020年に完成予定



➤ 場所 : 大阪府吹田市津雲台5-20-4

➤ 敷地面積 : 13,253.58㎡

➤ 延べ面積 : 23,411.34㎡

➤ 階数 : 地上10階建て

➤ 整備戸数 : 計700室

学生寮 (留学生・日本人学生混住) 300室

教職員宿舎 (独身用) 320室

教職員宿舎 (単身用) 40室

教職員宿舎 (世帯用) 40室



また、留学生と日本人学生が混住し、近隣には教職員も居住(きょじゅう)する「グローバルビレッジ」の整備を進めています。

その第一弾として2020年に吹田市津雲台に700戸からなる建物が完成し、将来的には2,600戸まで拡大したいと考えています。

まさに世界に開かれたグローバルな学びの場へと進化します。

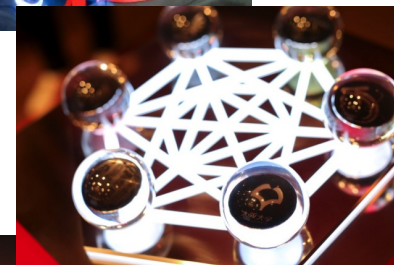
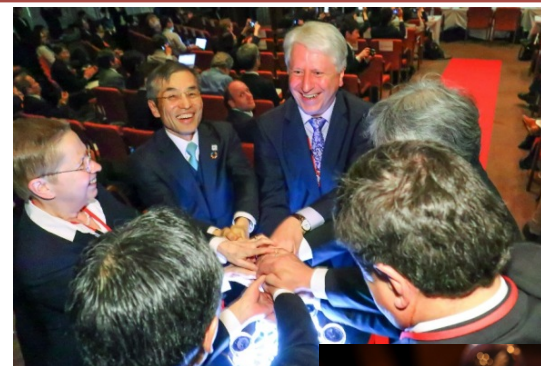
この場所は、元々教職員宿舎が並び建っていたところですが、今はこの右の写真のように更地になっています。

今後、2020年の完成に向けて建築工事が進んでいきます。

## 日独6大学ネットワーク (HeKKSaGOn)

- 日独間の持続的な学術協力の強化を通して広く社会及び人類の幸せ、繁栄に寄与することを目的として、ハイデルベルグ大学、京都大学、カールスルーエ工科大学、東北大学、ゲッティンゲン大学、大阪大学の6大学で構成される2国間のコンソーシアム

2018年4月12日、13日 大阪大学にて開催



ここで、国際交流イベントの話題を一つ紹介します。

今年4月、本学吹田キャンパスで日独6大学ネットワーク(HeKKSaGOn(ヘキサゴン))総会を開催しました。

HeKKSaGOn(ヘキサゴン)は、日独間の持続的な学術協力の強化を通して広く社会や人類の幸せ、繁栄に寄与することを目的とした、日本とドイツの6大学による2国間のコンソーシアムです。

ハイデルベルグ大学、京都大学、カールスルーエ工科大学、東北大学、ゲッティンゲン大学、大阪大学の6大学で構成しています。

日独から、各大学の学長・副学長、研究者、学生等の延べ200名近くの参加者がありました。

今回の会議では、HeKKSaGOn(ヘキサゴン)第1巡目の最後の総会であり、これまでの総括を行うとともに、第2巡目に向けての長期戦略を検討する節目の会となりました。

## 2018年 春の叙勲

### 瑞宝中綬章

井上	俊	名誉教授	(人間科学研究科)
駒澤	勲	名誉教授	(基礎工学研究科)
白川	功	名誉教授	(情報科学研究科)
中村	敏一	名誉教授	(医学系研究科)
舟阪	晃	名誉教授	(大阪外国語大学)
三宅	裕	名誉教授	(工学研究科)

(氏名50音順)

# 京都賞

## 三村 高志 さん

(1970年 基礎工学研究科修士課程修了 / 1982年 大阪大学工学博士取得)

## 京都賞 を 受賞 !



2017年

先端技術部門

エレクトロニクス



# 京都賞

三村 高志

(Takashi Mimura)

日本 / 1944年12月14日

半導体工学者

株式会社富士通研究所 名誉フェロー / 情報通信研究機構 未来ICT研究所 統括特別研究員

高電子移動度トランジスタの発明とその開発による情報通信技術の発展への貢献

京都賞ホームページより引用 <http://www.kyotoprize.org/>

## 仁科記念賞

# 武居 弘樹 さん (1996年 基礎工学研究科博士前期課程修了) 仁科記念賞 を 受賞！

武居 弘樹 Hiroki Takesue

日本電信電話株式会社  
NTT物性科学基礎研究所 上席特別研究員

業績題目：  
「大規模コヒーレントイジングマシンの実現」



# ウーマン・オブ・ザ・イヤー

## 末延 則子 さん (1991年 薬学研究科博士前期課程修了) 日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018」 大賞を受賞！



末延 則子 Noriko Suenobu

ポーラ化成工業株式会社  
研究企画担当 執行役員  
(所属・役職は受賞当時のもの)

2017年最大のヒットコスメを生み出した  
日本初となるシワを改善する薬用化粧品を開発

日経WOMANホームページより引用 <http://wol.nikkeibp.co.jp/>

元気です!  
阪大生

## 政策提言論文発表会で7連覇を達成!

法学部国際公共政策学科の学生が  
2017年12月10日開催の「WEST論文研究発表会」で  
**7年連続の最優秀賞を受賞!**

2017年12月3日開催の「ISFJ日本政策学生会議」で  
**2年ぶり4度目の政策提言賞を受賞!**





元気です!  
阪大生

## 日本学生支援機構 優秀学生顕彰

平成29年度日本学生支援機構 優秀学生顕彰で  
**寺本将行さん（医学部・6年）が**  
**社会貢献分野の大賞を受賞！**  
(2017年12月9日表彰式)



2017年10月21日、22日にスタンフォード大学で開催された  
「Stanford's Health Hackathon Health++ 2017」でも総合第3位入賞！



## 環境サークルGECSが快挙

### 全国大学生環境活動コンテストでダブル受賞!

2017年12月27日、28日開催の  
「第15回全国大学生環境活動コンテスト」で  
**環境サークルGECSが**  
**グランプリと会場賞のダブル受賞!**



元気です!  
阪大生

## 漕艇部が競技で地域で大活躍

全日本選手権・3位入賞！ 人命救助活動で表彰！

「第95回全日本選手権大会」  
(2017年10月26日～29日開催)

男子舵手付ペアで3位入賞！

創部121年で初の歴史的快挙!!



2018年5月16日早朝練習中に  
淀川河川内にて起こった  
水難事故での  
人命救助活動に対し  
守口消防署から感謝状が  
贈られました！

# 大阪大学未来基金

健康で快適な  
グローバル  
キャンパスの実現

学部生への奨学金支給

学生支援

国際交流

世界に通用する  
人を育む

学生の海外派遣の  
サポート

留学生への奨学金支給

未来基金  
活用方策

真髓を究め未来を  
創造する研究の推進

若手研究者、  
大学院生への支援

研究者  
支援

社会貢献

大学と人と地域の  
交流促進

研究成果公開活動の  
支援

相互市民教育の展開

引き続き、  
あたたかいご支援をお願いいたします

# 広がる「大阪大学ファミリー」の絆



2017年12月2日「大阪大学の集い in 東京」に約**550名**が参加！



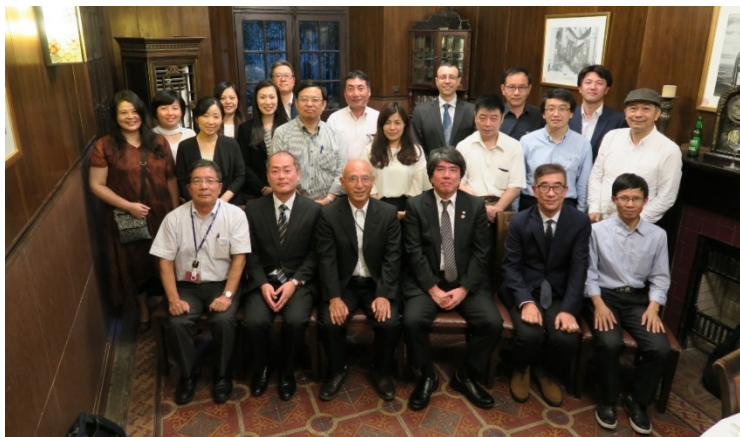
2018年8月18日「大阪大学の集い in 福井」に約**280名**が参加！

# 広がる「大阪大学ファミリー」の絆

2018年4月30日「第13回大阪大学ホームカミングデイ」に  
過去最多の約**550名**が参加！



# 広がる「大阪大学ファミリー」の絆



2017年9月22日 大阪大学上海同窓会



2017年9月30日 大阪大学北米同窓会講演会・年次総会



2018年3月3日 大阪大学タイ同窓会Workshop、懇親会



## 本学初のネーミングライツに関する協定を締結

本学は、教育研究環境の向上や施設等の有効活用を目的に、ネーミングライツ制度を導入し、その1例目となるネーミングライツに関する協定を締結（平成30年9月）

- ネーミングライツ・パートナー：新日鉄住金ソリューションズ株式会社
- 対象施設：ポプラ通り福利会館2階食堂（吹田キャンパス）
- 愛称名（アルファベット表記）：NSSOL Café
- 愛称名（日本語表記）：エヌエスソル カフェ
- 協定期間：2018年10月1日～2021年3月31日
- 愛称の使用：施設入口に愛称看板の掲示、大学ホームページでの案内等における使用







# 2021年 大阪大学創立90周年 大阪外国語大学創立100周年



**2021年5月1日（土）  
記念式典開催予定**

これからも大学の発展のため  
皆様方とともに邁進していく所存です  
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます